



くすの木

平成28年1月4日発行（第25号） 発行責任者：柄崎 智 編集：広報委員会
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>

《 新年のご挨拶 》

川崎市立川崎病院 病院長 増田 純一

明けましておめでとうございます。

昨年はIS（イスラム国）による1月の日本人犠牲者発生から11月のパリ同時多発爆破に至るまで、多くの命がテロにより失われた年でしたが、一方では二人の日本人ノーベル賞受賞者を輩出するなどの明るいニュースも多くありました。昨年仕切り直しとなった東京オリンピックの国立競技場については昨年暮に新しい案と事業主体が決まり、エンブレムについては今春早々に決定することが見込まれるなど、新たに着実な一歩を踏み出せる年になりそうです。

当院は本年4月から地域医療支援病院に承認される予定です。社会が今後ますます高齢化していくにあたり、従来の一つの病院だけで医療を完結する仕組みではなく、地域の医療機関等が相互に協力して、医療介護を一体化して行う地域包括ケアの考え方を具現化するための選択です。

当院は高度急性期医療および専門的医療を提供する病院として、一昨年春より原則紹介外来制となっています。患者の皆さまには「かかりつけ医」の先生の紹介状をお持ちいただき、急性期集中治療の必要性を終えた時点で「かかりつけ医」の先生に診ていただく、あるいは「かかりつけ医」の先生と当院の担当医が協働して診療するという地域医療連携を引き続き進めてまいります。患者の皆さまにとってはご不便をおかけする場合もあるとは思いますが、地域社会全体の健康と福祉を向上させるための取り組みであり、ご理解をいただきたいと存じます。

本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年となりますことを、心より祈念申し上げます。



☆ ICTを活用したスマート化の推進について ☆

川崎市病院局では平成27年3月に「市立川崎病院におけるスマート化の基本方針」を策定し、ICTの積極的な活用による病院のスマート化を進めています。

・デジタルサイネージの導入

ひとつ目の取り組みとして、平成27年11月から、A棟1階から3階までの外来待合エリアで、デジタルサイネージ（電子看板）を7面新規設置し、運用を開始しました。

これらのデジタルサイネージは、既存の外来表示板と異なり、インターネットに接続しニュース・天気予報等のリアルタイムなコンテンツや川崎市PR動画など多様な情報を配信しています。一方、休日・夜間の一部ディスプレイにおいては、救急外来診察状況や救急外来に関連する各種コンテンツを配信しています。

<導入目的>

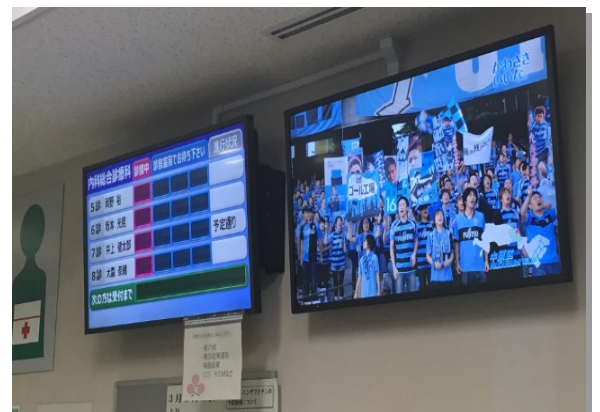
1階から3階までの外来待合エリアにおいて、効果的な情報提供や、診察や会計の待ち時間を有効に活用できる環境整備として、ICTを活用した情報提供を図りました。

<デジタルサイネージの現在配信コンテンツ例>

- ① 病院の基本理念
- ② 診療科一覧
- ③ 当院に関する各種お知らせ
- ④ ニュース・天気予報等
- ⑤ 川崎市PR動画
- ⑥ 救急外来診察状況（夜間休日のみ）

<ディスプレイ設置場所：7箇所>

- 1階：① エントランスホール ② 内科待合 ③ 外科待合 ④ 脳神経外科待合
- ⑤ 夜間休日受付前ホール
- 2階：⑥ 採血室前待合
- 3階：⑦ 産婦人科中待合



紙の掲示物を電子看板にまとめます